

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和元年5月20日(月)  
午前10時～午前11時35分
- 3 場所 第2・3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 市長 久保田桂朗、副市長 小川信彦、教育長 長屋勝彦  
総務部長 山田日出雄、市民部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、教育こども未来部長 長谷川忍  
秘書企画課長 伊藤新治、同企画政策グループ統括主査 小出健二、行政課長 佐野剛、同主幹 佐藤信次、同財政グループ統括主査 酒井寿、協働安全課長 小松浩、同危機管理グループ統括主査 水野功一、同市民協働グループ 小崎直美、上下水道課下水道グループ統括主査 大徳康司、学校教育課長 石川文子、同学校教育グループ統括主査 井手上豊彦、子育て支援課長 西井上剛、同保育グループ統括主査 佐久間喜代彦
- 6 事務局出席者 議会事務局長 隅田昌輝、同主任 高野真理子
- 7 議長あいさつ
- 8 市長あいさつ
- 9 報告事項

(1) 執行機関からの報告

① 6月定例会に提出予定の議案について

各部長：資料に基づき説明

総務部長：なお、留保財源については、平成30年度からの繰越額見込みが738,000,000円、うち令和元年度当初予算に前年度繰越金として278,000,000円を計上し、3月定例会では、岩倉中学校給排水衛生設備関係で当初予算から30年度補正予算への切替えとして31,000,000円の一般財源を減額している。そして今回の補正予算で約3,000,000円を前年度繰越として充当しているため、6月補正後の留保財源見込みは488,000,000円を予定。ただし、出納閉鎖前の数値である。

【確認】

特になし

② ふれ愛タクシー事業について

協働安全課長：資料に基づき説明

【確認】

宮川議員：以前の全員協議会の時に、今後行われる地域公共交通会議を経て詳細に関して各議員に報告するとのことだったと思う。かなり踏み込んだ

ところまで入っているが、地域公共交通会議をこれまで、どのように開いてきたのか。また、これが決定であって、今後、公共交通会議を開く予定はないのか。この2点をお聞きしたい。

協働安全課長：前回、全員協議会で報告して以降、岩倉市地域公共交通会議は3月27日に午前10時から公共交通会議を開催した。その中で、当初説明した事業案について議論した。そこからの大きな点として、乗降場所について、それまで市全域であったが、岩倉駅周辺は、既存の公共交通機関の事業者と協議した結果、こういったかたちになった。また、利用料金について、公共交通会議の中で、既存の事業者との料金の競争、そういった意見もあり、また、タクシーの空車車両に切り替えることによって、これまで課題であった午前中の利用、午前中の病院等への移動の予約ができないといった課題が解決できる、利便性が向上するといった点を踏まえて、また、送迎料がタクシーの場合はかかるので、そういったことも踏まえて、利用料金を、前は300円から、1,500円未満については400円、1,500円以上3,000円未満は800円、3,000円以上は1,600円と設定した。公共交通会議で諮り、ここに報告する案となった。今後の予定は、本日午後に公共交通会議があり、その会議の中で、報告したこの内容について協議をすることになっている。

宮川議員：本日の午後で、ほぼ決定ということで、これがたたき台になるという認識でよいか。

総務部長：基本的に事業内容は前回会議でほぼ認めていただいている状況である。その時の懸念事項が、この内容で参加してくれるタクシー事業所があるかどうかという点だった。その後、この事業内容で事業者の説明に行き、3社が希望を出しているため、この内容で認めていただけている。

### ③簡易間仕切りシステムの供給等に関する協定について

協働安全課長：資料に基づき説明

#### 【質疑】

木村議員：この間仕切りシステムは、岩倉市の避難所で、どのくらい設置できるのか。全体としては、何セットくらい設置できるのか。

協働安全課危機管理グループ統括主査：平均的には1つの体育館で、各学校の体育館の面積から、150人くらいの避難者が避難できる想定ではあるが、通路などを考えると少なくなり、100セットだと、小中学校の体育館1つ、というイメージを持っている。

水野議員：この間仕切りシステムが必要になるような大規模災害の時に、大和リースのある三重から、交通が分断され、実際に運搬することが可能なのかと思うが、岩倉市内や岩倉市の近隣に置いておくという考えはないか。

協働安全課危機管理グループ統括主査：この100セットを使う想定を考えた時に、避難者がいない状況の体育館にセットすることを想定していて、災害が起こってすぐというよりは、少し経って、第2避難所、例えば、岩倉中学校を開けたときに、運んでもらってセットする想定をしている。三重県菟野町なので、津波の被害の想定外の場所であり、三重県から岐阜、岩倉への交通路も確保できているということで、大和リースとも話はできているので、大丈夫だと考えている。岩倉市内に保管することは考えていない。

④ 保育園・認定こども園の入園状況について

子育て支援課長：資料に基づき説明

【質疑】

特になし

⑤ 小中学校児童生徒・学級数等について

学校教育課長：資料に基づき説明。なお、私学への進学者数について。私立小学校へ：0人。私立中学校へ：北小校区で10人、南小校区で4人、五条川小校区で3人、曾野小校区で3人、合わせて20人。特別支援学校の在籍者数について。一宮東特別支援学校：小学部4人、中学部2人。小牧特別支援学校：小学部2人、中学部2人。春日台特別支援学校：小学部1人、中学部0人。

【質疑】

特になし

⑥ 岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設工事基本設計者選定について

学校教育課長：資料に基づいて説明

【質疑】

特になし

⑦ 小中学校に関する行事等の日程について

学校教育課長：資料に基づいて説明

⑧ その他

特になし

(2) その他

特になし

## 10 協議事項

特になし

### 11 その他

大野議員：公共施設再配置検討協議会について、冊子が配られているが、新人の議員が4名いらっしゃるし、もう一回復習するという意味で、公共施設再配置検討協議会を6月議会の予備日で設定したいが、いかがか。

梅村議長：公共施設再配置検討協議会の日程調整を行いたいだが、会長・副会長から候補日はあるか。

黒川議員：執行機関に聞きたいが、プロポーザルで、実施スケジュールの中で、第一次審査の結果発表が6月20日予定となっているが、この日に議会に対しても公表してもらえるのか。それを踏まえて日程を考えたい。

学校教育課統括主査：第一次審査の結果発表については、ホームページで公表しようと思っているので、議会に対して発表することは考えていない。

黒川議員：例えば、6月20日の午後の時間帯で、公共施設再配置検討協議会をセッティングすれば、その時に結果内容について我々に説明頂けるという理解でよろしいか。

総務部長：なお、6月20日は総合教育会議が入っているので、この日は厳しい。

副市長：6月20日は第一次審査で、最終決定ではないので、ここで業者は発表になるが、検討の土台にはならないと思う。

(暫時休憩)

梅村議長：公共施設再配置検討協議会について、改めて、6月議会中の委員会予備日で調整し、日程を連絡することでいいか。

黒川議員：会期中の話なので、議会運営委員会で日程調整していただいて構わない。

梅村議長：議会運営委員会で日程調整して連絡する。

梅村議長：会議等における服装について、5月1日から10月31日まで、さわやかエコスタイルキャンペーンで、男性は上着を着用せずノーネクタイでの服装を慣行し、女性も節度ある服装に心がけている。市議会も、地球環境への配慮、省エネルギー化の促進に寄与し、執行機関同様に夏場の節度ある服装を慣行したいと思うのでよろしく。